



マイワシ 太平洋系群

主な漁業と漁期

未成魚・成魚 まき網：周年
定置網：1月～5月
マシラス 船曳網：3月～5月

生態

マイワシは日本に生息する代表的な浮魚で、大規模な資源変動を示すことが知られています。

●分布・回遊

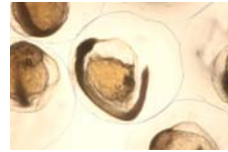
資源の高水準期には日本近海を中心に黄海・東シナ海から日本海全域と北西太平洋に広く分布しています。低水準期には分布が縮小します。

静岡県海域に分布するマイワシは太平洋系群に属しています。太平洋系群の0歳魚は親潮域も含めた北西太平洋の広域に分布します。1歳以上は黒潮周辺の沿岸域で滞留するものと、北方へ索餌回遊するものがあります。近年は資源量の増加により、道東沖まで回遊が見られるようになりました。

●産卵期・産卵場

産卵期：11～6月で、最盛期は2～4月。

産卵場：近年の産卵海域は、四国沖から関東近海までの黒潮内側域に形成されています。



マイワシの卵

産まれた卵(左)は3日で孵化し、マシラスになります。

産まれてから1ヶ月余り経つと、3cmほどに成長します(右)。



マシラス



大羽イワシ

大羽イワシ(体長20cm、体重100g)には、産まれてから3年ほどかかります(左)。

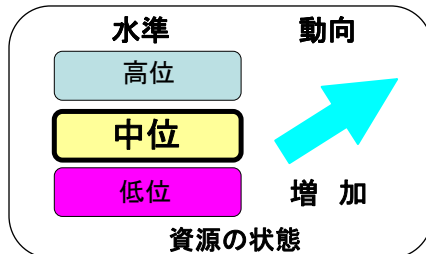
●成長・成熟

寿命は7歳程度です。資源水準によって成長は異なりますが、平均的には3歳で被鱗体長20cm、体重100g程度に成長します。

近年は1歳で20%、2歳以上で100%が成熟します。

漁業・資源動向

【資源】



- 2016年の資源評価では、太平洋系群の資源水準は中位で、増加傾向にあると判断されています。
- 2008年以降、良好な加入が続き、急速に資源は回復してきました。推定された2015年の資源量は185.7万トンでした。
- 2015年の親魚量は60.6万トンと推定され、資源回復措置を講じる親魚量の閾値(22.1万トン)を超えています。現状の漁獲圧は高くなく、資源を現状維持及びその後増加できる水準にあります。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

<http://abchan.fra.go.jp/digests28/html/2801.html>

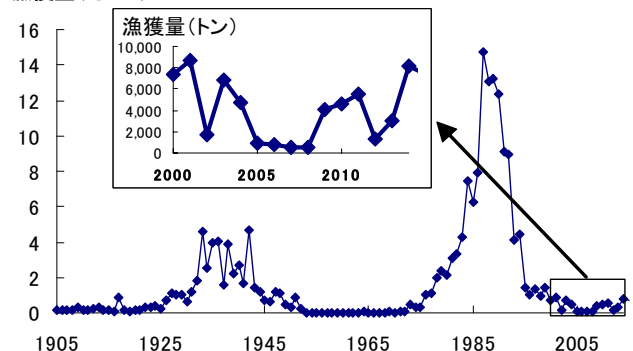
詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests28/details/2801.pdf>

【漁業】

- マイワシは、静岡県では主にまき網や定置網で漁獲されます。
- 県内の漁獲量は1987年にピークを示した後急減し、1995年以降は低迷していましたが、2009年以降、増加傾向が認められています。
- 春に漁獲されるマイワシ仔魚(マシラス)も1990年以降に低迷していましたが、2008年からまとまった水場が見られるようになってきました。

漁獲量(万トン)



静岡県のマイワシ漁獲量の推移

担当者の一言：入梅時のマイワシは脂がのってとてもおいしい魚です。

問合せ先

静岡県水産技術研究所資源海洋科 054-627-1817